

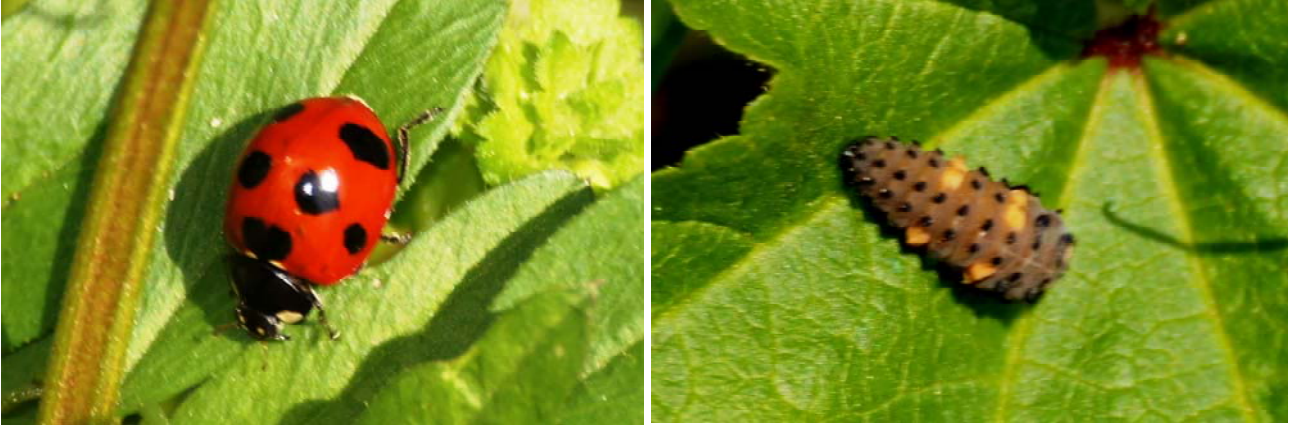
# 牛久：学校周辺に見る自然

第3号 向台小学校

2017年4月25日発行

## ＜ 春の校庭で生きもの観察 ～③テントウムシ＞

向台小3年生との春の生きもの観察、今回は、小学生に人気のテントウムシ。



ナナホシテントウ（左）と、その幼虫（右）。えさはどちらもアブラムシ。

まず、あちこちで声が上がったのが、おなじみナナホシテントウ。「星の数を数えてみよう！」と数えてみました。1, 2, 3...、ちゃんと7つありましたね。幼虫も見つかりました。



次に、ナミテントウ。黒地に赤い星二つのが多く見られましたが、赤い星4つのなどいろいろでした。ドウダンツツジの幹には左の写真のような星12個のものも見つけましたね。いろいろなものがあっても同じナミテントウで、南の方ほど黒地に赤星2つが多く、それが年々北へと広がっているそうです。平均気温が上がってきていることと、関係があるのでしょうか？  
ナミテントウ(斑紋型)。えさはアブラムシ。



そして、最後に見つかった大きなテントウムシ。ナミテントウかと思いましたが、後でよく見るともようが違います。見たことがあると思い調べてみて、カメノコテントウであることが分かりました。サンゴジュの枝にいましたが、クルミハムシの幼虫を食べるそうで、近くにオニグルミなどがあるのだらうと思いました。 【理科支援員：宮内】

大きな、カメノコテントウ。他のテントウムシと違い、成虫も幼虫もクルミハムシの幼虫を食べる。